

宇宙普遍生物学セミナー

第7回 2023年3月9日(木)

17:00~18:30 ハイブリッド形式

会場:理学部1号館233号室
及びオンライン

地球生命の起源で分かっている事と
宇宙での他の生命形態の可能性

山岸 明彦

(東京薬科大学, 生命科学部)

今から38億年前の岩石中に、生命の証拠が炭素同位体比として残されている。生命誕生過程で最も困難なのが、遺伝の仕組みの誕生である。遺伝の仕組みが無ければタンパク質ができないが、タンパク質が無ければ遺伝の仕組みが働かないからである。これは「タマゴとニワトリのパラドックス」と呼ばれている。それを解決する「RNAワールド」仮説が提案されている。既にRNAワールドを支持する多くの実験結果が得られている。SFの世界では、地球生命とは異なる様々な生命形態が想像されている。これらの生命の可能性はどれくらいあるのだろう。我々が地球外生命を知らない以上、その検討は想像を出ることはない。普通の生物学者と物理学者に叱られることを覚悟しつつ、すでに報告された「地球外生物学という水物への取り組み」を紹介する。

